

令和3年度第3回中央区清掃・リサイクル推進協議会（書面開催） 意見を集約したもの

開催日時	令和4年1月12日（水） 書類送付
配布資料	<p>（配布資料）</p> <p>資料1-1 中央区災害廃棄物処理計画（案）</p> <p>資料1-2 中央区災害廃棄物処理計画 概要版（案）</p> <p>資料1-3 計画案の主な修正点（中間報告からの修正点）</p> <p>資料1-4 中央区災害廃棄物処理計画に対するご意見の概要と区の考え方</p> <p>資料2 令和2年度ごみ量及び資源回収量について</p> <p>資料3 中央区一般廃棄物処理基本計画2021の進捗状況について</p> <p>資料4 第3回中央区清掃・リサイクル推進協議会資料に関する意見書</p>
議事の概要	<p>議 題</p> <p>（1）中央区災害廃棄物処理計画の策定について</p> <p>（2）令和2年度ごみ量及び資源回収量について</p> <p>（3）中央区一般廃棄物処理基本計画の進捗状況について</p> <p>（4）その他</p>
委員からの意見	<p>別紙のとおり（委員から提出された意見書の各事項について、事務局が書面による集約と会議形式での回答を行った。）</p>

委員からの意見

1 議題

(1) 中央区災害廃棄物処理計画(案)について

○委員

P.28 応急集積所について、腐敗・悪臭防止の観点から、住宅や学校、病院等の近くは避けるとあるが、築地川、鉄砲洲、あかつき、越前堀の各公園は学校や病院の近くである。事前（平常時）に指定すると近隣住民から反対の声が上がるのではないか。

P.33 にもあるように、平常時からの分別周知を繰り返すことが必要と考える。

●区

地区集積所をはじめとする仮置場の候補地については、京橋・日本橋・月島の各地域内に設置できるよう検討を進めているが、実際には災害の規模により判断することになる。仮置場の開設状況は決定次第区から広報を行うことを想定しており、事前に公表することは予定していない。

また、設置にあたっては地域の皆様にご理解・ご協力をいただけるよう、災害時の分別・排出ルールを含め、丁寧な説明を行っていく。

(2) 中央区災害廃棄物処理計画 1 概要版(案)について

○委員

P.2 災害廃棄物の分別について、赤枠内の分別の必要性を、繰り返し区民に周知することが必要と考える。

●区

本計画策定後、区民への普及啓発を目的としたリーフレット等を作成し、防災訓練やイベント等で配布することにより、平時から災害時のごみの出し方を周知する予定である。

(3) 計画案の主な修正点（中間報告からの修正点）について

○委員

意見なし

(4) 中央区災害廃棄物処理基計画に対するご意見の概要と区の考え方について

○委員

意見なし

(5) 令和 2 年度ごみ量及び資源回収量について

○委員

布製品の回収はいまだに進まないのか。

●区

令和2年4月中旬～12月下旬まで、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う輸出先のロックダウンにより、布類の拠点回収を休止していたが、現在は通常通り回収を行っている。

○委員

中央区指定の、破けにくいゴミ袋を各家庭・事業所に配置しておけば、油や汁物が残っていても漏れにくいのではないかと考える。

●区

生ごみの漏れは、よく水分を切り、袋ごと蓋付きのペールに入れて出していただくことが有効であるとする。厚手のごみ袋も漏れには強いと考えられるが、現時点では配置することは予定していない。

(6) 中央区一般廃棄物処理基本計画 2021 の進捗状況について

○委員

意見なし

(7) その他

○委員

プラ新法に伴う対応を検討していただきたい。

●区

現在、本区ではプラスチック製容器包装を分別回収している。今後、プラスチック製容器包装だけでなく、プラスチック製品も合わせて分別回収する「プラスチックの一括回収」について検討していく。

○委員

各資料としては十分な役割を果たしているのと思うが、表現（言葉遣い）やビジュアル等、理解しづらい。もっと解りやすい資料となるよう、再考をお願いしたい。

●区

解りづらい資料となったこととお詫び申し上げます。今後、委員の皆様にご理解いただける資料となるよう改善していく。

○委員

平常時のごみ出しの際、ペール（バケツ型ごみ箱）に入れて出すよう、区で取り決めることはできないか。びんや缶を出す際に区で用意している、折り畳み式コンテナのようなものに生ごみを入れて出すよう、各家庭・事業所に配布できないか。

●区

平常時のごみ出しに使う容器の基準として、中央区廃棄物の処理及び再利用に関する規則の中で、原則蓋付きペールとし、それが困難な場合は透明又は半透明の袋を用いることと、定めている。生ごみについては、カラスやネズミ対策として、コンテナよりも蓋付きペールの方が効果的であると考えている。

○委員

帰宅困難者対策について、発災後、商店街に多くの人が集まるのが想定されるため、平常時はベンチとして使用し、災害時はトイレとなるような仕組みを作っていたらと思う。その他にも、災害時に商店街として取り組めることを考えていかなければと思う。

●区

共助の一つに商店街を中心とすることは非常に有意義であると考えている。

中央区ではマンホールトイレ 237 台や組立式簡易トイレ 1,391 個を始めとした、災害用のトイレを備蓄しているが、その使用方法についても、防災訓練等を通して発信していく。

○委員

書面開催連絡の後、修正資料の到着から意見書の提出までの期限が短く、書類に目を通す時間がなかった。

●区

開催前日の書面開催への変更及び資料の差替えとなり、委員の皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫び申す。郵便サービスの変更に伴い、期日までに確実に到着するための投函日をご案内させていただいたが、今後はこのようなことがないように、十分留意していく。